

復興の先を見据えて 変化する社会にNPOはどう対応するのか

宮城、岩手につづき、今年度は福島にて開催!!

日時 令和3年 5月26日(水) (11:00~18:00)

南相馬からライブ配信 (ZOOM ウェビナー)

参加方法 資料代 1500円 事前申込

※ 定員が200名に到達し次第締め切り致します。
右記QRコードからも、お申し込みいただけます。



あの日から十年。

郷の多様な課題に向き合い、走り続けてきた
このたび、南相馬の地に集い、これまでの軌跡を振り返る。

想いとつながりを原動力に
未来に向けて、いざ、走り出す。

基調講演

復興のプロセスから見た地域の未来

岡本 全勝 氏

元福島復興再生総局事務局長

1955年生まれ。奈良県出身。東京大学法学部卒。自治省入省。内閣総理大臣秘書官、

東日本大震災被災者生活支援本部事務局次長、復興庁事務次官などを歴任。2020年退任。

著書『東日本大震災 復興が日本を変えるー行政・企業・NPOの未来のかたち』(2016年、ぎょうせい)など。

ブログ：岡本 全勝 <http://zenshow.net/>



南相馬市から Section2 門馬和夫 市長 NPOと行政に登壇

主催 とうほくNPOフォーラムin南相馬2020実行委員会

後援 復興庁 内閣府(予定)



本プログラムは「タケダいのちとくらし再生プログラム」
の支援を受けて実施しています。 <http://www.inochi-kurashi.jp/>

協力 福島県 宮城県 岩手県 南相馬市
武田薬品工業株式会社

Timetable

11:00 ~ 12:00

基調講演

Section 0

復興のプロセスから見た地域の未来



岡本 全勝 氏
元福島復興再生総局 事務局長

1955年生まれ。奈良県出身。東京大学法学部卒。自治省入省。内閣総理大臣秘書官、東日本大震災被災者生活支援本部事務局次長、復興庁事務次官などを歴任。2020年退任。著書『東日本大震災 復興が日本を変えるー行政・企業・NPOの未来のかたち』(2016年、ぎょうせい)など。

進行：鹿野 順一 氏 (アットマーククリアスNPOサポートセンター・代表理事)

— お昼休憩 40分

12:40 ~ 14:00

NPOと地縁組織

Section 1

出会う、変わったこと、変わらなかったこと

#変化



菅原 辰雄 氏
林際カーシェア会 事務局長
石巻市でコミュニティ・カーシェアリングの活動を行う「一般社団法人日本カーシェアリング協会」を紹介された林際地区にて、同団体から指導と協力を得て、実証実験を経て住民18人が登録する組織「林際カーシェア会」が発足。現事務局長を務める。



平塚 勇氣 氏
一般社団法人日本カーシェアリング協会
コミュニティ・サポート事業部 事業部長
2018年、一般社団法人日本カーシェアリング協会へ入社する。現在は、コミュニティ・サポート事業部のコンサルタントとして、石巻の10地域にあるカーシェア会のサポート業務に従事する。主に、各カーシェア会の運営サポートや、他県でのカーシェア会導入時のサポートを行う。

コーディネーター：高田 篤 氏 (東北圏地域づくりコンソーシアム・事務局長)

— 休憩 15分

14:15 ~ 15:35

NPOと行政

Section 2

関わりをどう活かすか ~役割と可能性~

#期待



高橋 由佳 氏
一般社団法人イシノマキ・ファーム 代表理事
二輪メーカーに所属し、レースに参戦。その後、教育・福祉分野の専門職を経て、2011年、こころの病を持つ人たちの就労・就学支援を行うNPO法人Switchを設立。16年には「ソーシャルファーム」を理念とした就農支援の一般社団法人イシノマキ・ファームを設立。精神保健福祉士・職場適応援助者(ジョブコーチ)。



門馬 和夫 氏
南相馬市長
1978年に原町市役所(現南相馬市役所)入職。平成18年、合併後の南相馬市役所において経済部長、総合病院事務部長を歴任したのち平成26年3月に市役所を退職。同年11月から南相馬市議会議員を務め、平成30年1月の市長選において「100年のまちづくり」を掲げて初当選。

コーディネーター：横田 能洋 氏 (茨城NPOセンター・commons・代表理事)

— 休憩 15分

15:50 ~ 17:10

NPOと地域

Section 3

持続的な協働を目指して

#連動



菅野 道生 氏
岩手県立大学社会学部社会学科 准教授
東京都品川区出身。明治学院大学大学院博士課程中退。2010年まで東京ボランティア・市民活動支援センターで、ボランティアやNPO支援に携わる。東日本国際大学(いわき市)を経て、2012年4月より岩手県立大に着任。専門は地域福祉論。主な研究活動として、「被災地における高齢者の社会的孤立」、「東日本大震災の復興過程における中間支援の検証報告書」等。



田中 雅子 氏
特定非営利活動法人子ども∞(むげん) 感ばにー 代表理事
東京都出身。保育士として勤めた後、2011年3月20日にボランティアとして石巻入りし、子どものあそび場&居場所「黄金浜ちびっこあそび場」を地域住民と共に再建。子どもの「遊び」と「居場所」の必要性を発信するとともに、地域の人や子ども支援団体とネットワークを組み、官民が協働で課題に取り組んでいくための活動を実施。

コーディネーター：佐藤 賢 氏 (気仙沼まち大学運営協議会)

— 休憩 15分

17:25 ~ 18:00

クロージング

Section 4

連携の先に期待するもの

#未来



吹田 博史 氏
武田薬品工業株式会社 CSR企業市民活動・寄付担当部長
東京生まれ、西宮育ち。1988年大学卒業後、武田薬品工業株式会社に入社。営業、営業推進、労働組合、社長室を経験後、現在、コーポレート・コミュニケーションズ&パブリックアフェアーズCSRにおいて、日本における企業市民活動の企画・推進に取り組んでいる。



田尻 佳史 氏
特定非営利活動法人 日本NPOセンター 常務理事
大学卒業後、海外での4年間のボランティア活動を経て、社会福祉法人大阪ボランティア協会に入職。1996年より日本NPOセンターへ出向、2003年転職。事務局長、特任理事を経て2018年より現職。市民活動の基盤整備を推進すべく、NPOと他セクターとの連携のためのコーディネーションを行い、東日本大震災の復興支援事業を含む多くのプログラムの企画立案を手掛ける。

【主催】とうほくNPOフォーラムin南相馬2020 実行委員会

- 構成団体 (特非)おおふなと市民活動センター / (特非)陸前高田まちづくり協働センター / (特非)いわてNPOフォーラム21
(特非)いわて連携復興センター / (一社)気仙沼まちづくり支援センター / 気仙沼まち大学運営協議会 / (特非)いしのまきNPOセンター
(一社)東北圏地域づくりコンソーシアム / 多賀城市市民活動サポートセンター / (特非)せんだい・みやぎNPOセンター
(特非)杜の伝言板ゆるる / 南相馬市市民活動サポートセンター / (特非)ふくしまNPOネットワークセンター
(事務局) (特非)アットマーククリアスNPOサポートセンター / (特非)日本NPOセンター

参加申込URL

<https://rias-iwate.net/lp/tohoku-npo-forum-2020>

または

